

大学間学生交流協定・部局間学生交流協定によるフランス語圏大学への  
派遣留学希望者に要求される語学力の基準について（文学研究科）

フランス語圏への留学希望者は、以下のいずれかのフランス語検定試験・資格試験・学力試験の免状・証明書を取得しておくことが望ましい。

1) 仏検:学部生・準2級以上、大学院生・準1級以上

2) フランス語資格試験 (DELF) :学部生・B1 以上、大学院生・B2 以上

3) フランス語学力テスト (TCF) :学部生・B1 以上、大学院生・B2 以上。

なお、同等の語学力を証明する教員の推薦状等をもって免状・証明書に代えることができる。

参考： 日本において受験可能なフランス語検定試験・資格試験・語学力テスト

1) 仏検 (APEF 財団法人フランス語教育振興会)

日本人学習者を対象とし文部科学省および在日フランス大使館文化部の後援をうけて実施されるフランス語の技能検定試験。受験料はレベルにより異なる (準2級 6000 円、2 級 7000 円、準1 級 9000 円)。一次試験、二次試験とも京都市内の大学で受験できる。

試験日程

春季 出願：4 月 - 5 月 一次試験：6 月 二次試験 (準2 級以上)：7 月 (1 級の試験は春季のみ)

秋季 出願：9 月 - 10 月 一次試験：11 月 二次試験 (準2 級以上)：1 月

・ **1 級 標準学習時間：600 時間以上**

「読む」「書く」「話す」という能力を高度にバランスよく身につけ、フランス語を実地に役立てる職業で即戦力となる。

・ **準1 級 標準学習時間：500 時間以上**

日常生活や社会生活を営む上で必要なフランス語を理解し、一般的な内容はもとより、多様な分野についてのフランス語を読み、書き、聞き、話すことができる。

・ **2 級 標準学習時間：400 時間以上**

日常生活や社会生活を営む上で必要なフランス語を理解し、一般的なフランス語を読み、書き、聞き、話すことができる。

・ **準2 級 標準学習時間：300 時間以上**

日常生活における平易なフランス語を読み、書き、話すことができる。

・ **3 級 標準学習時間：200 時間以上** (大学で第一外国語としての授業なら 1 年間、第二外国語として週 2 回の授業なら 2 年間の学習に相当)

フランス語の文構成についての基本的な学習を一通り終了し、簡単な日常表現を理解し、読み、聞き、話し、書くことができる。

・ **4 級 標準学習時間：100 時間以上** (大学で週 1 回の授業なら 2 年間、週 2 回の授業なら 1 年間の学習に相当)

基礎的な日常フランス語を理解し、読み、聞き、書くことができる。

・ **5 級 標準学習時間：50 時間以上** (大学で週 1 回の授業なら 1 年間、週 2 回の授業なら半年間の学習に相当)

2) フランス語資格試験 (フランス国民教育省認定)

DELF (Diplôme d'études en langue française)

DALF (Diplôme approfondi de langue française)

世界 150 余ヶ国で実施されている。外国人受験者に対し、そのフランス語に関する能力を証明するためにフランス教育省により授与される公式の免状 (diplôme)。DALF C1 を取得するとフランスの大学に入学する際に義務づけられているフランス語能力評価試験が免除される。フランス語圏及びヨーロッパの高等教育機関でも広く認可されつつある。日本ではフランス政府給費留学生試験の一部が免除される。聞き取り・読解・文書作成・口頭表現の 4 つの能力が評価の対象になる。京都では関西日仏学館が試験センターとなっている (<http://www.delfdalf.jp/>)。受験料はレベルにより異なる (B1, B2:12000 円、C1, C2:14000 円)。合格後、免状の発行に時間がかかるのが難点だが、試験の約 1 ヶ月後に発行される合格証明書をもって免状に代えることが可能である。

## 試験日程

春季 出願：3月 - 4月 筆記試験・口頭表現試験：5月、6月

秋季 出願：7月 - 9月 筆記試験・口頭表現試験：10月、11月

### ・DELF A1 学習時間の目安：約80h

フランス語の基本レベル。日常生活での単純で具体的な状況を理解できる。相手がゆっくり話すなら、簡単なコミュニケーションが可能。

### ・DELF A2 学習時間の目安：約170h

フランス語の初歩をマスター。身近な分野での単文を理解できる。慣れた状況でならコミュニケーションが可能。自分に関する問題を単純な手段で表現できる。

### ・DELF B1 学習時間の目安：約330h

フランス語を効果的にマスターしているが、限界がある。身近な分野の明快で標準的な表現であれば理解できる。旅行先で会話をこなし、自分に興味のあることを話すことができる。計画やアイデアに関して短く説明することも可能。

### ・DELF B2 学習時間の目安：約510h

フランス語を全般に渡って自主的に運用できる。複雑なテキストの要点を理解すると同時に、一般的あるいは専門的な内容の会話に参加し、筋通の通った意見を明確に詳細に述べるができる。

### ・DALF C1 学習時間の目安：約760h

フランス語の優れた運用能力を持つ。含みのある難解な長文テキストであっても、そのほとんどを解し、自分の社会的立場や仕事、学問との関わり、あるいは他の複雑なテーマについて、流暢かつ理論的に述べるができる。

### ・DALF C2

非常に優れたフランス語の運用能力を持つ。読むもの、書くものの全てを即座に理解し、的確に要約することができる。複雑なテーマについても、様々な形で、ニュアンスを交じえつつ流暢に意見を述べることができる。

## 3) フランス語学力テスト (フランス国民教育省)

TCF (Test de connaissance du français)

TCFはフランス語圏以外の人で、職業上、個人的、或いは学業上の理由から、自分のフランス語能力の水準を簡単迅速に、そして信頼できる方法で評価し、認定を受けたいと望むすべての人を対象としている。すべての受験者はヨーロッパ評議会 (ヨーロッパ共通基準枠組み) が定めた**6等級区分 (A1からC2=DELF/DALFと同様)** の内のいずれかに等級付けされた証明書 (attestation, 免状 diplôme ではない。この証明書は2年間のみ有効) を受け取る。従ってTCFに不合格はない。京都では関西日仏学館が試験センターとなっている。受験料は9000円 (関西日仏学館の生徒は8000円)。DELF/DALFより年間の試験回数が多く (3回)、証明書の発行も比較的早い。試験は基本的にマークシート方式である。TCFにはコンピューターによる受験のための電子バージョンもある。 (<http://www.ciep.fr/tcf/>)

## 試験日程

出願：1月 - 2月 試験：3月 / 出願：5月 - 6月 試験：7月 / 出願：9月 - 10月 試験：11月